

☆〈詩〉 しせん

しせん

谷川 俊太郎

ちわってみようかなあ ② つるつる

おしてみようかなあ ④ ゆらゆら

おすしおそうかなあ ぐらぐら

おいちおそうかなあ がらがら

たおれちゃったよなあ えくく

いりよくかんじるねえ みしみし

ちぎゅうはまわってるう ぐいぐい

かぜおづいてるよお そよそよ

あるちはしめるかな ひたひた

だれかがうりむいたー しせん



上の詩を読んで答えましょう。

一. この詩には、「^②つるつる」と同じように、
ようすや音を表すことばがたくさんあります。
それらを書き出しましょう。(5×1)

(つるつる) () ()
() () ()
() () ()

二. 一で答えたことばについて、問いに答え
ましょう。(5×4)

① 強くゆれているようすをあらわしてい
るのは、どけてしょう。

()

② おすしにちわっているのはどけてしょう。

()

③ たおれてしまったことをあらわしてい
るのは、どけてしょう。

()

④ 少しゆれているようすをあらわしてい
るのは、どけてしょう。

()

三. 「^④なあ」のようじ、ことばのおわりをのば
しているところがほかにもあります。それ
らを書き出しましょう。(5×4)

(なあ) () ()
() () ()

四. この詩には、ほかとちがったひょうげん
になっている行が二つあります。それをぬ
き書きしましょう。(10×2)

()
()

五. この詩を読んで、思ったことや感じたこ
とを書きましょう。(5)

()
()

きつつきの商売 ①

《おしや》 きつつきは商店を開きました。きつつきは音を聞かせるおしやなので、名刺を『おしや』にしました。

2

ぶなの森に、雨がふりはじめます。

きつつきは、新しいメニューを思いつぎました。

ぶなの木のうろから顔を出して、空を見上げています。

⑩「おはよう。おつつきちん。」

「何してるんですか。おつつきちん。」

木の下で、声がしました。

見下ろすと、ぶなの木のねもとに、野ねずみの家族が、みんなきつつきを見上げています。

たちぼすみれの葉っぱのかざをかたにかつて、上を見上げているので、みんな、顔じゅうびしょぬれでした。

⑪「おとやの新しいメニューができたんですよ。」

きつつきは、ぬれた頭をふるんとらって、言いました。

「へえ。」

「今朝、できたばかりの、できたてです。」

「へえ。」

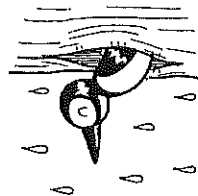
「でもね、もしかしたら、あしたはできなにかもしれないから、メニューに書くことが書くまいか、考えてたんですよ。」

「へえ。じゃあ、とくぐつ

メニューってわけ。」

「そうです。とくとく

とくぐつメニュー。」



⑫「そいつはいいなあ。ほくたけは、うんがいに。それで、その、とくとく、とくぐつメニューも、面白い。」

「いいえ。今日のは、ただです。」

上の文章を読んで答えましょう。

一、とくとく、雨がふりはじめたのですが。(10)

()

二、新しいメニューを思いついたのは、だれですか。(10)

()

三、⑩「おはよう。おつつきちん。」について答えてください。(10×2)

① 声をかけたのは、だれですか。

()

② きつつきは、とくとく何をしていましたが。

()

四、野ねずみの家族はとくとくにいましたが。(10)

()

五、野ねずみたちが、かざにしていたのは何ですか。(10)

()

六、⑪、⑫は、それぞれだれのことはですか。(5×2)

⑪ ()

⑫ ()

七、新しいメニューは、いつできたのですが。(10)

()

八、なぜ「とくとくメニュー」なのですか。(10)

()

九、⑫「ほくたけは、うんがいに。」と言ったのは、とくとくですか。(10)

()

きつぎの商売 ②

「よかった。おすもすくんがいそ。ににに」
おとやが開店して、すてきな音を聞か
せてもらえるってことは、もうずいぶん前
から聞いてただけだね。今日やっどは
じめてみんな来てみたんですよ。」
「朝からの雨で、おせんたくができないもの
ですから。」

母さんねずみが言うと、

⑩「おにわのおきつぎも。」

「草の実あつめも。」

「草がぬれてて、

おすもすもできないよ。」

「かたつむりたちは、できるけど。」

「かたつむりじゃなくて、あまがえるだって
ば。」

「どっちもだよ。」

子どもたちも、口々に言いました。

⑪「だから、ひとつ、聞かせてください。」

野ねずみの家族は、そろって、うれしそうに
言いました。

⑫「じょうちじしました。」

きつぎは、木のうちから出て、野ねずみ
たちのいる場所にとび下りました。

「やあやあ、しずかにしなさい。おとやさん
の、とくとく、とくとく、ニエーなんだか
ら。」

野ねずみは、野ねずみのおくちゃんといく人、
ぐちゃぐちゃ言ってる子どもたちを、どうに
かだまらせてから、きつぎをうりかえって
言いました。

⑬「やあ、おねがいをいたします。」

「かじりました。」

上の文章を読んで答えましょう。

一、おとやのお店に来たおきゃくは、だれで
すか。 (10)

()

二、このおきゃくがおとやのお店に来たのは、
何回目ですか。 (10)

()

三、おきゃくは、なぜ今日来たのですか。 (10)

()

四、雨でつぎのことができないのは、だれで
すか。 (10×2)

① おせんたく ()

② おすもす ()

五、⑩～⑫は、それぞれだれのことはですか。 (5×4)

⑩ ()

⑪ ()

⑫ ()

⑬ ()

六、「じょうちじしました。」とは、何をじょう
ちしたのですか。 (10)

()

七、きつぎは、どこからどこにとび下りま
したか。 (5×2)

① () から

② () へ

八、「おとやさん」というのは、だれのことを
指すか。 (10)

()

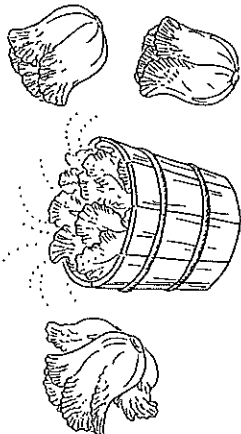
☆ (詩) 白菜 ^{やろ} せいじやい

白菜 ^{やろ} せいじやい

武鹿 ^{ぶしか} 悦子 ^{えきこ}

- ② 白菜 ^{やろ} せいじやい
塩 ^{しほ} をうけて せいじやい
おもひな おけに せいじやい
- ① 山 ^{やま} もり白菜
うた のせて
しあげに おもしが
しんと すむる

- ⑤ 白菜 ^{やろ} せいじやい
塩 ^{しほ} をうけて せいじやい
は ^は いけるが ^が あ ^あ ち ^ち ん せいじやい
- ④ ま ^ま ら ^ら しい白菜
ち ^ち れ ^れ た ^た 葉 ^は
い ^い の ^の ち ^ち あ ^あ つ ^つ と ^と ち
お ^お つ ^つ け ^け も ^も の



上の詩を読んで答えましょう。

一. ① この詩で、いちばん多くつかわれて
いることは何ですか。 (10)

()
② ①で答えたことは、何を表してい
ると思いますか。 (10)

()

二. ① この詩は、何を作っているときの詩
ですか。 (10)

()
② だれが作っていますか。 (10)

()
③ しあげに何をのせますか。 (10)

()

三. ものが、人のように表現されていると
ころが二か所あります。ぬき書きしましょう。 (10×2)

()

()
四. 何がま ^ま ら ^ら しいのですか。 (10)

()

五. つぎの①～③の文は、②、④、⑤、⑥のど
こを表していますか。()に書きましょう。 (5×4)

① 白菜をおけにつけて入っているようす

() と ()

② ひととおつとき、白菜が ^ま ら ^ら しいお ^お つ
けものになっていてほしいと思っている
ところ ()

③ 白菜をつけたおけのようす

()

物語文・詩 解答例

88頁 どきん

- 一、ゆらゆら・ぐらぐら・がらがら・みしみし・ぐいぐい・そよそよ・ひたひた

二、①ぐらぐら

②つるつる

③がらがら

④ゆらゆら

三、かあ・ねえ・るう・よお

四、たおれちゃったよなあ えへへ

・だれかがふりむいた! どきん

五、略

89頁 きつつきの商売①

一、ぶなの森

二、きつつき

三、①野ねずみ(の家族)

②ぶなの木のうろから顔を出して、空を見上げていた。

四、ぶなの木のねもと

五、たちつぽすみれの葉っぱ

六、⑥きつつき ①野ねずみ

七、今朝、できたばかり。

八、あしたはできないかもしれないから。

九、とくべつメニユーがちゅうもんで

きるから。

90頁 きつつきの商売②

一、野ねずみの家族

二、一回目(はじめて)

三、朝から雨だから。

四、①母さんねずみ ②子どもたち

五、⑥ねずみの子ども(たち)

①野ねずみの家族(そろって)

⑤きつつき

⑧父さんねずみ(野ねずみ)

六、とくべつメニユーを聞かせること

七、①木のうろ

②野ねずみたちのいる場所

八、きつつき

91頁 白菜 ぎしぎし

一、①ぎしぎし

②例白菜をおけにつめこむ音、白菜と白菜がこすれる音など

二、①白菜のおつけもの

②おかあさん

③おもし

三、①どんと すわる

・このつぎ あうとき

四、白菜

五、①⑦・⑧

②⑤

③④

92頁 かえるのびよん

一、かえるのびよん とぶのがだいすき

二、びよん

三、とぶ(こと)

四、①かあさん・とうさん

②じどうしゃ・しんかんせん

③(とんでる) ひこうき・おひさま

④きよう・あした

五、例東京タワー、にじ

六、略

93頁 すいせんのラッパ①

一、①池のそば ②金色のラッパをふ

いて、よい音が出るかどうかためし

ていた。

二、⑧あり ①すいせん ⑤あり

②あり ⑥あり

三、すいせんが、今年はじめてラッパ

をふくこと。

四、冬の間にむっていたかえるたちに、

春ですよ起きなさいと知らせであ

げるため。

五、①お日さまの高さをはかる。

・風の速さをしらべる。

・ラッパをプーとふいた。

・ときどき、もうすぐだというよ

うに、うんうん、うなずく。

六、葉っぱの上で、ゆらゆらゆれて、

じっとまっている。

94頁 すいせんのラッパ②

一、あたりいっぱい

二、①すいせん

②ラッパをふくこと

三、ラッパの音

四、池のそばのつつじのねもと

五、例かえるが土の中から地上に出て

くるようす

六、⑧かえる ①かえる ③かえる

②あり ⑥あり

七、①すいせん

②起こしてくれたこと

95頁 消しゴムころりん①

一、(作文をとくに書き上げて) つ

くえの上で消しゴムを転がしてあそ

んでいた。

二、①パチンコ玉くらい

②パチンコ玉のように丸い。

三、まっすぐには転がらないこと。

四、消しゴムが、ゆかいたの細長い三

角形のあなに落ちていったこと。

五、①略

②そのしゅんかんに

六、⑧だから ①すると

七、ゆきひろの口もとがわらっている

ように見えたから。

96頁 消しゴムころりん②

一、ゆきひろが目を大きくしていたから。

二、ゆきひろが見ていないふりをして、

一人でわらったから。

三、①一びきのやもり

②思わず両足がうき上がり、声が出そうになった。